

8.豚の卵管

機関名：豊橋市食肉衛生検査所
動物名：豚 品種：LW 性別：雌
病歴：不明 氏名：森本 賢治 年齢：2歳

生体所見：特になし

内臓所見：左右卵管が卵管峡部の一部を除き、最大直径約 3cm に肥厚していた。卵管肥厚部は黄白色を呈し、断面は充実性であった。左右卵巢では卵胞、黄体を取り囲むように黄白色充実性組織を認めた。

肝臓、脾臓、胃、結腸、膀胱及び腹壁の漿膜面に 0.3～2.5cm 大の扁平ないしドーム状の黄白色結節が付着していた。

その他臓器及びリンパ節に著変はみられなかった。

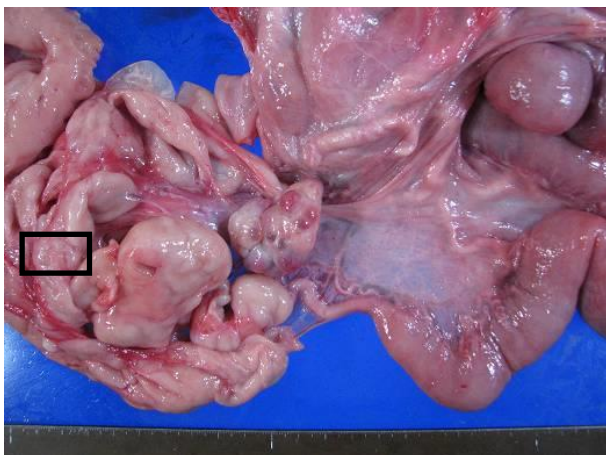
組織所見：卵管肥厚部では腫瘍細胞が高度に浸潤増殖し、固有構造が消失していた。腫瘍細胞は、少量の細胞質を有し、大小不同、円形ないし多角形であった。腫瘍細胞の核はクロマチンに富み、核分裂像を高頻度に認め、核崩壊像、壊死像やマクロファージによる貪食像もみられた。卵巢では間質を中心に腫瘍細胞が増殖し、一部集塊状を呈していた。肝臓、胃及び腹壁では実質に腫瘍細胞の浸潤増殖を認めたが、脾臓、結腸及び膀胱では実質内への浸潤はみられなかった。

免疫組織化学の結果、卵管及び胃の腫瘍細胞はCD79α陽性 (DAKO)、CD3陰性 (ニチレイ) を示した。

血液所見：著変なし

固定方法：10%中性緩衝ホルマリン

切り出し部位：卵管肥厚部 (枠内)



行政処分：全部廃棄

組織診断名：B細胞性悪性リンパ腫

疾病診断名：悪性リンパ腫